



福県医発第 3012 号 (総)
令和 2 年 2 月 26 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 松 田 峻一良
(公印省略)

2020 年度日本医師会生涯教育制度について

梅鶯の候、貴職ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

生涯教育の推進につきましては、平素よりご理解、ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2020 年度「日本医師会生涯教育制度」実施要綱が別添のとおり日本医師会より示されましたのでお送りいたします。ご留意いただきたい事項は下記のとおりです。

なお、来年度も引き続き日本医師会においては、日本医師会雑誌問題解答、日医 e-ラーニング等、本会においては講習会、指導医のための教育ワークショップの開催等の生涯教育を実施してまいります。

今後とも、日本医師会生涯教育制度にご理解とご協力を賜りますとともに、本実施要綱につきまして、貴会会員各位にご周知くださいますよう、貴職のご高配方、何卒よろしくお願い申し上げます。

記

1. 2019年度（2019年4月から2020年3月）分申告については、郡市区医師会において、全国医師会研修管理システム（以下、「研修管理システム」という）に入力していただきます。その際、特に以下ご留意くださいますようお願いいたします。
 - (1) 入力期間は厳守してください。2019年度分申告は2020年6月末を過ぎると入力できません。
 - (2) 主催者が研修管理システムに参加登録するに当たって、医籍登録番号、漢字氏名、カナ氏名の間違いが多発しています。単位・CCの統合を正しく行うため、各医師会におかれましては、医師会で管理している会員データのみならず、主催者への問い合わせ等につきましてもご協力をお願いいたします。
 - (3) 日本医師会生涯教育制度は医師を対象としたものですが、研修管理システムに歯科医師が登録されデータの不整合が発生しています。この場合、エラーの原因究明に困難を極めますので、歯科医師を登録しないよう注意してください。
2. 日本医師会会員情報システムの再構築に伴い、研修管理システムへの入力、日本医師会生涯教育制度学習単位取得証、日医生涯教育認定証などの交付の際、氏名に外字は使用できません。

3. 日本医師会への申告受付期間（毎年6月末締切）を過ぎた場合の追加申告については、原則として受け付けていませんが、特段の事情があり、各医師会長から文書にて依頼があった場合は、生涯教育・専門医の仕組み運営委員会にて、その都度対応を審議いたします。なお、依頼文書には依頼の理由を必ず付記してください。しかしながら、生涯教育制度の公正性の観点等から、以下のように取り扱うこととし、期限を過ぎたものは受け付けいたしませんので、ご了承ください。
- ①2017年度（平成29年度）以前の申告分についての追加申告は受け付けない。
 - ②2018年度（平成30年度）申告分についての追加申告は、日本医師会への提出期限を2020年3月31日までとする。（本会へは2020年3月19日までに申告下さい。）
 - ③2019年度（令和元年度）申告分についての追加申告は、日本医師会への提出期限を2021年3月31日までとする。（本会へは2021年3月19日までに申告下さい。）
4. 「日本医師会生涯教育制度学習単位取得証」ならびに「日医生涯教育認定証」の再発行に際し、紛失等の事由による再発行で、医師会以外に送付する場合は、送料着払いにて送付します。

以上

2020 年度
「日本医師会生涯教育制度」実施要綱

2020 年 2 月

日 本 医 師 会

I. 日本医師会生涯教育制度

日本医師会生涯教育制度は、医師としての姿勢を自ら律するという、プロフェッショナルオートノミーの理念のもと、医師の生涯教育が幅広く効果的に行われるための支援体制整備を目的として、昭和62（1987）年に発足した。その後今日まで、数次にわたる制度の改正を行い、その質的向上と充実を図っている。

日本医師会は、日本医師会生涯教育カリキュラム＜2016＞を作成し、到達目標を示した。このカリキュラムに則り、生涯教育を行う。なお、カリキュラムコードは、継続的に見直しの検討を行うものとする。2019年度の生涯教育においても、生涯教育カリキュラム＜2016＞の内容を取り入れるように努め、2021年4月に2020年度分の申告を行う際には、別紙1のカリキュラムコードと単位を申告することとする。

日医生涯教育認定証の発行間隔は3年間とし、3年間で単位数とカリキュラムコード数の合計数が60以上の取得者に日医生涯教育認定証を発行する。

また、1年毎に発行する日本医師会生涯教育制度学習単位取得証には、取得年度、取得単位数および取得カリキュラムコードを記載し、過去3年間の取得単位数とカリキュラムコードを合算したうえで、上記日医生涯教育認定証を発行する。

1. 運営組織

日本医師会生涯教育制度学習単位取得証および日医生涯教育認定証の交付に係る事項等、本制度の円滑な運営を図るため、また、専門医共通講習の審査・認定を行うため、日本医師会に生涯教育・専門医の仕組み運営委員会を設ける。

2. 生涯教育単位・カリキュラムコードの申告

生涯教育の申告は、都道府県医師会または郡市区医師会が講習会・講演会・ワークショップ等（以下、「講習会等」という）情報および出欠管理を行う全国医師会研修管理システム（以下、「研修管理システム」という）に講習会等の出欠データおよび自己申告分データを入力することで行う。使用方法是、別途定める研修管理システムのマニュアルを参照されたい。

研修管理システムに格納されたデータは、受講記録として出力が可能となる。

（1）申告者ならびに医師会の役割

①生涯教育申告者

申告者は毎年、「日本医師会雑誌」3月号に同封される申告書（別紙2）の「生涯教育単位等記入表」（日本医師会ホームページ「生涯教育 on-line」にも掲載）

に1年間の取得単位および取得カリキュラムコードを記入し、講習会等の参加証等を添付のうえ、4月末日までに所属（または最寄り）の郡市区医師会に提出する。なお、研修管理システムを利用する講習会等については、出席が記録されるため、申告は不要となる。

②都道府県医師会・郡市区医師会

都道府県医師会・郡市区医師会は、講習会等の出欠データ（受講実績データ）をその都度、研修管理システムに入力し、出欠情報を確定する。また、4月末までに届く生涯教育制度単位等記入表に記載された自己申告分を研修管理システムに6月末までに入力する。研修管理システムにおける自己申告分の入力方法は以下の2つがある。①研修管理システムの「生涯教育申告書データ入力」画面の入力フォームにて申告書ごとに入力する。②一括申告形式のデータ（別紙3、CSV ファイル）を作成し、研修管理システムの「生涯教育申告書データ入力」画面から取り込む¹。なお、郡市区医師会は、①または②の作業完了後、都道府県医師会に報告し、都道府県医師会は、郡市区医師会の集計状況について管理する。

③日本医師会

日本医師会は、研修管理システムに記録された学習単位およびカリキュラムコードに、日医 e-ラーニング等の単位・カリキュラムコードを加算し、個々の申告者について取得単位・カリキュラムコードを確定する。

（2）研修管理システム使用に当たっての留意事項

①講習会等の出欠データを研修管理システムに入力した場合、二重申告を避けるため、参加証等は発行しない。

②受講実績データ入力後に「出欠確定」作業を必ず実施すること（「出欠確定」が行われていない講習会等は、入力作業中とみなされ、単位等の集計が行われれない）。

3. 日本医師会生涯教育制度学習単位取得証の交付

2019 年度に 0.5 単位以上取得した生涯教育申告者に対し、日本医師会長は別

¹ 日本医師会会員情報システムの再構築に伴い、外字は使用できず、Shift-JIS 形式を使用する。

紙４の「日本医師会生涯教育制度学習単位取得証」（以下、「学習単位取得証」という）を２０２０年１０月１日付で交付する^２。

また、日本医師会雑誌を利用した解答（後述Ⅲ－１）、日医ｅ－ラーニング（後述Ⅲ－２）、臨床試験のためのeTraining Center（日本医師会 治験促進センター提供）（後述Ⅲ－３）により日本医師会で管理する単位・カリキュラムコードのみを申告している者についても「学習単位取得証」を発行し、都道府県医師会に通知する。

４．日医生涯教育認定証の交付

「学習単位取得証」にて連続した３年間の間に取得した単位数とカリキュラムコード数（同一の取得コードは１コードとする）の合計数が６０以上の者に、１２月１日付で、発行日から３年間の認定期間を明記した日本医師会長名の「日医生涯教育認定証」（別紙５）（以下、「認定証」という）を交付する。

なお、認定証が発行された者については、認定証が発行された年度の４月１日を起算日として、新たに単位・カリキュラムコードが累積されることとなり、認定期間が終了する３年後まで、認定証は発行しない。

５．再発行

「学習単位取得証」ならびに「認定証」の再発行は別紙６・７の様式により依頼する。ただし、紛失等の事由による再発行で、医師会以外に送付する場合は、送料着払いにて送付する。

６．その他の証明書

研修管理システムに格納された講習会等は、諸種の受講記録の発行が可能となる。

Ⅱ．日本医師会生涯教育カリキュラム＜２０１６＞

１．カリキュラム＜２０１６＞の内容

^２ 従来は当該年度に取得単位がなくても「学習単位取得証」を交付していたが、２０１８年度申告分より当該申告年度に単位の取得がない者については、「学習単位取得証」（２０１９年１０月１日付け以降）は発行しないこととした。なお、申告者個人の受講記録は研修管理システムから出力できる。また、０．５単位以上取得した年度においては当該年度発行の「学習単位取得証」の再発行は可能であるが、取得単位のない年度の「学習単位取得証」は発行できない。

カリキュラム＜2016＞の一般目標は、「頻度の高い疾病と傷害、それらの予防、保健と福祉など、健康にかかわる幅広い問題について、わが国の医療体制の中で、適切な初期対応と必要に応じた継続医療を全人的視点から提供できる医師としての態度、知識、技能を身につける。」とされている。

また、行動目標は、以下のとおりである。

I. 総論

1. 医師のプロフェッショナリズム、2. 医療倫理：臨床倫理、3. 医療倫理：研究倫理と生命倫理、4. 医師－患者のコミュニケーション、5. 心理社会的アプローチ、6. 医療制度と法律、7. 医療の質と安全、8. 感染対策、9. 医療情報、10. チーム医療、11. 予防と保健、12. 地域医療、13. 医療と介護および福祉の連携、14. 災害医療、15. 臨床問題解決のプロセス

II. 症候論

16. ショック、17. 急性中毒、18. 全身倦怠感、19. 身体機能の低下、20. 不眠、21. 食欲不振、22. 体重減少・るい痩、23. 体重増加・肥満、24. 浮腫、25. リンパ節腫脹、26. 発疹、27. 黄疸、28. 発熱、29. 認知能の障害、30. 頭痛、31. めまい、32. 意識障害、33. 失神、34. 言語障害、35. けいれん発作、36. 視力障害、視野狭窄、37. 目の充血、38. 聴覚障害、39. 鼻漏・鼻閉、40. 鼻出血、41. 嗄声、42. 胸痛、43. 動悸、44. 心肺停止、45. 呼吸困難、46. 咳・痰、47. 誤嚥、48. 誤飲、49. 嚥下困難、50. 吐血・下血、51. 嘔気・嘔吐、52. 胸やけ、53. 腹痛、54. 便通異常（下痢、便秘）、55. 肛門・会陰部痛、56. 熱傷、57. 外傷、58. 褥瘡、59. 背部痛、60. 腰痛、61. 関節痛、62. 歩行障害、63. 四肢のしびれ、64. 肉眼的血尿、65. 排尿障害（尿失禁・排尿困難）、66. 乏尿・尿閉、67. 多尿、68. 精神科領域の救急、69. 不安、70. 気分の障害（うつ）、71. 流・早産および満期産、72. 成長・発達の障害

III. 継続的なケア

73. 慢性疾患・複合疾患の管理、74. 高血圧症、75. 脂質異常症、76. 糖尿病、77. 骨粗鬆症、78. 脳血管障害後遺症、79. 気管支喘息、80. 在宅医療、81. 終末期のケア、82. 生活習慣、83. 相補・代替医療（漢方医療を含む）

IV. その他

0. その他

2. カリキュラム＜2016＞の活用

日本医師会は、カリキュラム＜2016＞のテーマを生涯教育の様々な媒体に偏りなく取り入れる。

都道府県医師会・郡市区医師会の生涯教育委員会は、カリキュラム＜2016＞からテーマを選択し、講習会等を立案する。

3. カリキュラムコード

別紙1のように、カリキュラムコードを定める。

また、カリキュラムコードは略称として「CC」を使用することができる。

Ⅲ. 単位およびカリキュラムコード設定

日本医師会生涯教育制度において、以下のように単位およびカリキュラムコードを定める。

1. 日本医師会雑誌を利用した解答（セルフアセスメント）

日本医師会雑誌に掲載された問題に対する解答は、日本医師会が証明・管理する。

日医雑誌1号につき、1単位・1または2カリキュラムコードを取得できる。年2回の日本医師会雑誌特別号を除き、日本医師会雑誌には毎号、問題を掲載する。

解答はインターネットまたははがきにより行う。インターネットまたははがきによる解答はいずれか1回限りとし、1号につき、アセスメントにより60%の正答率を得た者に1単位を付与する。正答率を満たさないものには単位・カリキュラムコードを付与しない。

はがき解答締切は、翌月の25日を目途とし、インターネット解答は翌月末日とする。解答は2号後（2か月後）に掲載する。

正答数は個別に通知しないが、単位付与については学習単位取得証をもって通知する（解答掲載後、単位・カリキュラムコード付与についてインターネットで随時確認できる）。

単位・カリキュラムコードの取得には、年間の上限を設けない。

2. 日医eラーニング（セルフアセスメント）

日医eラーニングについては、日本医師会が証明・管理する。

生涯教育 on-line で配信しているコンテンツを受講し、セルフアセスメントにおいて、80%の正答率を得た者は、1コンテンツにつき、1カリキュラムコ

ード1単位を取得できる。

正答率を満たさなかった場合は、再解答が可能である。

年間の単位取得・カリキュラムコードの取得には上限を設けない。

単位付与については学習単位取得証をもって通知するが、インターネットで随時確認できる。

3. 臨床試験のための eTraining Center (日本医師会 治験促進センター提供)

臨床試験のための eTraining Center については、日本医師会が証明・管理する。

臨床試験のための eTraining Center で配信している日医生涯教育用コンテンツ（コース）を受講し、20題中12題以上正解した者は、1コンテンツにつき、1カリキュラムコード0.5単位を取得できる。

不合格の場合は再受講が可能である。

年間の単位取得・カリキュラムコードの取得には上限を設けない。

単位付与については学習単位取得証をもって通知するが、臨床試験のための eTraining Center 内で随時確認できる。

4. 講習会・講演会・ワークショップ等

講習会・講演会・ワークショップ等は、主催者が証明し、都道府県医師会・郡市区医師会が管理する。年間の単位取得・カリキュラムコードの取得には上限を設けない。研修管理システムを利用する場合は、下記（1）と（2）において、管理する医師会あるいは主催者が、講習会等情報と受講実績データを研修管理システムに登録する。使用方法是、別途定める研修管理システムのマニュアルを参照されたい。

「日本医師会生涯教育講座」の名称の使用は、都道府県医師会主催・共催（後援等は除く）の講習会・講演会等のみとする。ただし、事情により、都道府県医師会が講座の実施を郡市区医師会に委ねている場合は、郡市区医師会主催の講座も「日本医師会生涯教育講座」の名称を使用できるものとする。

（1）日本医師会（日本医学会を含む）、都道府県医師会、郡市区医師会の主催によるもの

演題ごとに1カリキュラムコード・1単位・1時間を原則とする。ただし、講習会等のプログラムの柔軟性を確保するため、やむを得ない場合に限り、1カリキュラムコードの付与は最短30分（0.5単位）とする。なお、1時間（30分＋30分）以上でも同じ内容の演題には同一カリキュラムコードを付与する。な

お、挨拶、休憩時間、商品紹介の時間は講習時間には含めない。

例：認知症 1 時間、高血圧症 1 時間、脂質異常症 1 時間、糖尿病 2 時間、服薬管理 30 分、健康相談 30 分、介護保険 30 分、禁煙指導 30 分、在宅医療 30 分の合計 7 時間 30 分の講習会の場合

「認知症」(1 時間) → CC 29 : 1 単位、

「高血圧症」(1 時間) → CC 74 : 1 単位

「脂質異常症」(1 時間) → CC 75 : 1 単位

「糖尿病」(2 時間) → CC 76 : 2 単位

「服薬管理」(30 分) → CC 73 : 0.5 単位

「健康相談」(30 分) → CC 11 : 0.5 単位

「介護保険」(30 分) → CC 13 : 0.5 単位

「禁煙指導」(30 分) → CC 11 : 0.5 単位

「在宅医療」(30 分) → CC 80 : 0.5 単位

合計 7.5 単位 8 CC (CC 11, 13, 29, 73, 74, 75, 76, 80)

各医師会は、内容を十分に検討して、日本医師会生涯教育単位認定に相当する講演会であることを審査、承認する。その際、カリキュラム<2016>に照らし、内容に即したカリキュラムコードを厳格に付与すること。

演者、講師を務める場合も単位・カリキュラムコードの扱いは同じとする。

(2) 各科医会、都道府県単位未満の日本医学会加盟学会など、各種団体の主催によるもの

主催者が事前に開催地の都道府県医師会に申請することを原則とする。原則として、都道府県医師会が事前に承認を行い、カリキュラムコードを付与する。なお、時間当たりの単位付与は、(1) の主催のものと同等に扱う。

単位・カリキュラムコードの取扱いについては (1) に準ずる。

(3) 日本医学会総会および日本医学会加盟学会(都道府県単位以上) の主催によるもの

都道府県医師会の承認を不要とし、単位・カリキュラムコードは自己申告とする。

単位・カリキュラムコードの取扱いについては (1) に準ずる。

(4) 出欠者の管理

- 1) 都道府県医師会・郡市区医師会は、研修管理システムに登録した講習会等について、受講実績データを入力する。また、受講実績データ入力後に「出欠確定」作業を必ず実施すること。
- 2) 研修管理システムを利用しない場合は、例えば、以下の①～③による。
 - ①別紙8のような参加証を発行する。

なお、上記(3)の場合を除き、参加証に日本医師会生涯教育制度の単位・カリキュラムコードの記載がない場合は、当該講習会等が日本医師会生涯教育制度の対象であるか否か判断できないため認めない。
 - ②カリキュラムノートを作成し、それに主催責任者が捺印する。あるいは貼付シールを配布する。
 - ③都道府県医師会のコンピュータシステムを用い出席を登録する。

5. 医師国家試験問題作成

医師国家試験問題の作成は、都道府県医師会（郡市区医師会）が証明・管理する。

都道府県医師会（郡市区医師会）に提出されたものについて1題1単位とし、年間の単位の上限は5単位までとする。カリキュラムコードは「0」のみ付与する。グループで作成されたものについても1人1単位とする。

都道府県医師会（郡市区医師会）が発行する証明様式については、日本医師会において様式見本A（別紙9）を提示する。様式見本Aは日本医師会ホームページからダウンロードを可能とする。

6. 医学生の臨床実習・医師臨床研修制度における指導

医学生の臨床実習・医師臨床研修制度における指導の単位は、医学部・医科大学、研修病院（例：学長、医学部長、病院長、診療科長、診療部長）、郡市区医師会等が証明・管理する。

研修者1人を1日指導することにより1単位とし、年間の単位の上限は5単位までとする。カリキュラムコードは「1」のみ付与する。

研修病院、郡市区医師会等が発行する証明様式については、日本医師会において様式見本B（別紙10）を提示する。様式見本Bは日本医師会ホームページからダウンロードを可能とする。

7. 体験学習（共同診療、病理解剖見学、手術見学等の病診・診診連携の中での学習）

体験学習は、施設長・所属長等が証明・管理する。

1 時間 1 単位で上限は 1 回 5 単位までとする。最小単位は 30 分で 0.5 単位（1 カリキュラムコードは最短 30 分）とする。

カリキュラムコードは自己申告とする。

年間の単位取得・カリキュラムコードの取得には上限を設けない。

施設長、所属長等が発行する証明様式については、日本医師会において様式見本 C（別紙 11）を提示する。様式見本 C は日本医師会ホームページからダウンロードを可能とする。

なお、報酬を得るものについては体験学習とはしない。

8. 医学学術論文・医学著書の執筆

医学学術論文・医学著書の執筆（共同執筆も含む）は、当該年度に掲載・刊行（予定を含む）されたものについて、自己申告とする。

1 回（または 1 件）あたり 1 単位で、年間の上限は 5 単位、10 カリキュラムコードまでとする。

カリキュラムコードは 1 回（または 1 件）につき内容に応じて 2 つまで自己申告できる。

医学学術論文は題名・掲載誌・掲載頁・掲載年を記入する。また、医学著書は書名・出版社・刊行年等を記入する。

IV. その他

本実施要綱は、継続的に見直しの検討を行う。

また、以下の要綱については別途定める。

1. 「日本医師会指導医のための教育ワークショップ（都道府県医師会等開催）」実施要綱
2. 生涯教育制度推進のための助成金等交付要綱

別紙 1 カリキュラムコード

別紙 2 生涯教育制度単位等記入表（申告書）

別紙 3 一括申告を行う場合の申告データ形式（CSV形式）

別紙 4 日本医師会生涯教育制度学習単位取得証

別紙 5 日医生涯教育認定証

別紙 6 日本医師会生涯教育制度学習単位取得証再発行依頼様式

別紙 7 日医生涯教育認定証再発行依頼様式

別紙 8 講習会等の参加証の例

別紙 9 様式見本 A（医師国家試験問題作成の証明様式）

別紙 10 様式見本 B（医学生の実習・医師臨床研修制度における指導の証明様式）

別紙 11 様式見本 C（体験学習の証明様式）

日本医師会生涯教育カリキュラム＜2016＞
カリキュラムコード(略称:CC)

1 医師のプロフェッショナリズム	43 動悸
2 医療倫理:臨床倫理	44 心肺停止
3 医療倫理:研究倫理と生命倫理	45 呼吸困難
4 医師－患者関係とコミュニケーション	46 咳・痰
5 心理社会的アプローチ	47 誤嚥
6 医療制度と法律	48 誤飲
7 医療の質と安全	49 嚥下困難
8 感染対策	50 吐血・下血
9 医療情報	51 嘔気・嘔吐
10 チーム医療	52 胸やけ
11 予防と保健	53 腹痛
12 地域医療	54 便通異常(下痢・便秘)
13 医療と介護および福祉の連携	55 肛門・会陰部痛
14 災害医療	56 熱傷
15 臨床問題解決のプロセス	57 外傷
16 ショック	58 褥瘡
17 急性中毒	59 背部痛
18 全身倦怠感	60 腰痛
19 身体機能の低下	61 関節痛
20 不眠	62 歩行障害
21 食欲不振	63 四肢のしびれ
22 体重減少・るい瘦	64 肉眼的血尿
23 体重増加・肥満	65 排尿障害(尿失禁・排尿困難)
24 浮腫	66 乏尿・尿閉
25 リンパ節腫脹	67 多尿
26 発疹	68 精神科領域の救急
27 黄疸	69 不安
28 発熱	70 気分の障害(うつ)
29 認知能の障害	71 流・早産および満期産
30 頭痛	72 成長・発達の障害
31 めまい	73 慢性疾患・複合疾患の管理
32 意識障害	74 高血圧症
33 失神	75 脂質異常症
34 言語障害	76 糖尿病
35 けいれん発作	77 骨粗鬆症
36 視力障害・視野狭窄	78 脳血管障害後遺症
37 目の充血	79 気管支喘息
38 聴覚障害	80 在宅医療
39 鼻漏・鼻閉	81 終末期のケア
40 鼻出血	82 生活習慣
41 嘔声	83 相補・代替医療(漢方医療を含む)
42 胸痛	0 その他

生涯教育制度単位等記入表

※以下の単位欄とカリキュラムコード (CC) 欄の両方にご記入ください。

単位

講習会・学会等 単位 (単位上限なし)	医師国試問題作成 単位 (5単位まで)	研修等指導 単位 (5単位まで)	体験学習 単位 (単位上限なし)	論文等執筆 単位 (5単位まで)
---------------------------	---------------------------	------------------------	------------------------	------------------------

合計学習単位数 単位
(単位数の合計を記入)

カリキュラムコード (CC)

取得したカリキュラムコード番号欄に○を1つ記入

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	0						

取得カリキュラムコード数
(○の数を記入)

日本医師会生涯教育制度

第 199999999 号

見本

学習単位取得証

〇〇 〇〇 殿

あなたは 2019 年度日本医師会生涯教育制度に参加され、以下、
学習したことを証明いたします。

単位	合計	62.0 単位	カリキュラムコード	取得	35 CC	学習合計	97.0
	2019 年度	20.0 単位		2019 年度	15 CC		3年間の合計が60以上の場合、日医 生涯教育認定証 [※] が発行されます。申 告がなかった年は、「単位数0.00数0」 の申告があったものとみなします。
	2018 年度	24.0 単位		2018 年度	16 CC		
	2017 年度	18.0 単位		2017 年度	14 CC		

(注)ただし、3年間の認定期間が終了するまで、
次の日医生涯教育認定証は発行されません。

取得カリキュラムコード (CC)

①	②	3	④	5	6	⑦	⑧	9	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	15	16	17	⑱	⑲	20
21	⑫	⑬	24	⑫	26	⑫	28	29	30
31	32	33	④	35	④	37	④	39	④
41	42	④	④	45	46	47	④	49	50
⑤	52	53	54	55	⑤	57	⑤	59	60
61	⑥	63	⑥	⑥	66	67	68	69	70
71	72	⑦	74	75	76	⑦	78	⑦	⑧
81	82	83	⑧	上段：2019年度 中段：2018年度 下段：2017年度					

同一カリキュラムコードを重複して取得しても
加算されません。

2020 年 10 月 1 日

公益社団法人日本医師会

会長

日医太郎



見本



日医生涯教育認定証

第2012345678号

〇〇 〇〇 殿

あなたは日本医師会生涯教育制度の定める
認定基準を達成していることを証します。

認定期間：2020年12月1日～2023年11月30日

2020年12月1日

公益社団法人 日本医師会

会 長 日 医 太 郎



FAX送信用紙

日本医師会生涯教育課行き

FAX: 03-3942-6517

【20 年度日本医師会「単位取得証」訂正・再発行申込書】

下記にご記入の上、生涯教育課までFAXにてお送りください。

※本紙送信者：送付先と異なる場合は、必ず記入して下さい

※対象者

ふりがな

氏名 _____ 医籍登録番号 _____

※送付先（住所等）；印（☒）をつけてください。☐ 都道府県医師会 _____ 県医師会 担当者 _____ 様☐ 郡市区医師会 _____ 県 _____ 医師会 担当者 _____ 様

〒 _____

TEL () _____

☐ 先生へ直送をご希望の場合は送付先をご記入ください。（勤務先の場合、勤務先名称もご記入ください）

〒 _____

TEL () _____

※再発行理由

☐ 再発行（紛失等：医師会以外に送付する場合は、送料着払いとなります。）☐ 名字変更もしくは漢字の訂正：大きくはっきりとお書き下さい

ただし、日本医師会会員情報システムの再構築を踏まえ、外字は使用できません。

訂正前

→

訂正後

※上記以外の訂正希望については、日本医師会生涯教育課までお問い合わせください。

FAX送信用紙

日本医師会生涯教育課行き

FAX: 03-3942-6517

「20____年（発行）日医生涯教育認定証」

再発行申込書

下記にご記入の上、生涯教育課までFAXにてお送りください。

※本紙送信者：送付先と異なる場合は、必ず記入して下さい

※対象者

ふりがな

氏名 _____ 医籍登録番号 _____

※送付先（住所等）；印（✓）をつけてください。

☐ 都道府県医師会 _____ 県医師会 担当者 _____ 様☐ 郡市区医師会 _____ 県 _____ 医師会 担当者 _____ 様

〒 _____

TEL () _____

☐ 先生へ直送をご希望の場合は送付先をご記入ください。（勤務先の場合、勤務先名称もご記入ください）

〒 _____

TEL () _____

※再発行理由

☐ 再発行（紛失等：医師会以外に送付する場合は、送料着払いとなります。）☐ 名字変更もしくは漢字の訂正：大きくはっきりとお書き下さい。

ただし、日本医師会会員情報システムの再構築を踏まえ、外字は使用できません。

訂正前

→

訂正後

※上記以外の訂正希望については、日本医師会生涯教育課までお問い合わせください。

講習会等における参加証の例

日本医師会生涯教育制度	
参加証	
主催：日本医師会	
講習会名：第 回 講習会	
開催日 年 月 日～ 年 月 日	
合計単位数 7.5 単位	
CC	単位
11	1
13	0.5
29	1
73	0.5
74	1
75	1
76	2
80	0.5
貴殿は、標記講習会に参加したことを証明する。	
日本医師会長 日医 太郎 印	

日本医師会生涯教育制度における単位取得証明書

(医師国家試験問題作成)

都道府県医師会名： _____

郡市区医師会名： _____

氏名

取得単位数 1 題作成につき 1 単位

_____ 単位

* 日本医師会生涯教育制度における年間の単位取得の上限は 5 単位まで

カリキュラムコード： 0

上記の者が医師国家試験問題作成を行ったことを証明します。

証明者（都道府県医師会、郡市区医師会）

印

年 月 日

（様式見本 A）

日本医師会生涯教育制度における単位取得証明書
(医学生の臨床実習・医師臨床研修制度における指導)

都道府県医師会名： _____

郡市区医師会名： _____

申告者氏名

取得単位数 研修者数 × 日数

* 研修者 1 人を 1 日指導することにより 1 単位

_____ 単位

* 日本医師会生涯教育制度における年間の単位取得の上限は 5 単位まで

カリキュラムコード： 1

申告者が上記の臨床実習・臨床研修における指導を行ったことを証明します。

証明者（研修病院、郡市区医師会等）

印

年 月 日

（様式見本 B）

日本医師会生涯教育制度における単位取得証明書

(体験学習)

都道府県医師会名： _____

郡市区医師会名： _____

申告者氏名

取得単位数 30分で0.5単位

_____ 単位（1回あたり上限5単位まで）

内容（共同診療、病理解剖見学、手術見学等）

カリキュラムコード（自己申告）：

* 1カリキュラムコードは最短30分とする。

申告者が上記の体験学習を行ったことを証明します。

証明者（施設長、所属長等）

印

年 月 日

（様式見本C）

JMA

日本医師会生涯教育制度 のご案内



“日本医師会生涯教育制度”

日本医師会生涯教育制度は、医師としての姿勢を自ら律するという、プロフェッショナルオートノミーの理念のもと、医師の生涯教育が幅広く効果的に行われるための支援体制整備を目的として、昭和62(1987)年に発足しました。その後今日まで、数次にわたる制度の改定を行い、その質的向上と充実を図っています。

医師が不断に学習する姿を、より明確な形で国民に見ていただき、もって、質の高い医療を提供し、国民の健康に貢献することを目指しています。



日本医師会
Japan Medical Association

日本医師会生涯教育制度

制度概要

医師は、日進月歩の医学、医療を実践するために、生涯にわたって自らの知識を広げ、技能を磨き、常に研鑽する責務を負っています。日本医師会は医師の自己学習・研修を効果的に行えるよう生涯教育制度を実施しています。

本制度は、医師の研修意欲をさらに啓発・高揚させること、一方で社会に対して医師が勉強に励んでいる実態を示し、国民からの信頼を増すことを目的としており、連続した3年間の単位数とカリキュラムコード数（同一コードは加算不可）の合計数が60以上の者に「日医生涯教育認定証」を発行します。

制度対象者

広く制度に参加いただけるよう医師免許取得直後から参加できます（最短で医師免許取得後3年で日医生涯教育認定証が発行されます）。

期間

年度単位となっていますので、4月から翌年3月までに取得した単位・カリキュラムコードを、4月末日までに所属の郡市区医師会に提出して下さい（P3）。全国医師会研修管理システム※を利用する講習会等については、出席が記録されるため申告は不要です。

※全国医師会研修管理システム：都道府県医師会または郡市区医師会等が講習会等情報および出欠管理を行うオンラインシステム（以下、研修管理システムという）

カリキュラムコード（略称：CC）

カリキュラムコードは、学習した領域を表し、日本医師会生涯教育カリキュラム〈2016〉に基づき、84のカリキュラムコードが設定されています。同一カリキュラムコードを重複取得してもカリキュラムコード数は加算されません（P5）。

単位

単位は、学習した時間を表し、各カリキュラムコードごとに集計されます。最小単位は学習時間30分で0.5単位です。

単位・カリキュラムコードの取得方法（P6～7）

1. 日本医師会雑誌を利用した解答
2. 日医 e-ラーニングによる解答
3. 講習会・講演会・ワークショップ等
4. 医師国家試験問題作成
5. 臨床実習・臨床研修制度における指導
6. 体験学習（共同診療、病理解剖見学、症例検討、手術見学等の病診・診診連携の中での学習）
7. 医学学術論文・医学著書の執筆

※1・2は日医会員のみですが、3～7は日医非会員でも取得できます。

学習単位取得証

4月に申告のあった単位・カリキュラムコードに基づき、毎年11月頃に発行します（P4）※。

日医生涯教育認定証

連続した3年間の単位数とカリキュラムコード数（同一コードは加算不可）の合計数を60以上取得することにより、3年間の認定期間が明記された日医生涯教育認定証を発行します（P4）※。

※学習単位取得証および日医生涯教育認定証は都道府県医師会を通じてお届けします。

連続した3年間で
単位数 + カリキュラムコード数

合計 **60** 以上

「日医生涯教育認定証」を発行



認定期間は**3年**



生涯教育カリキュラム(2016)



学習単位取得証



日医生涯教育認定証

ご所属の郡市区医師会に申告してください。その後、都道府県医師会を通じて日本医師会に報告されます。

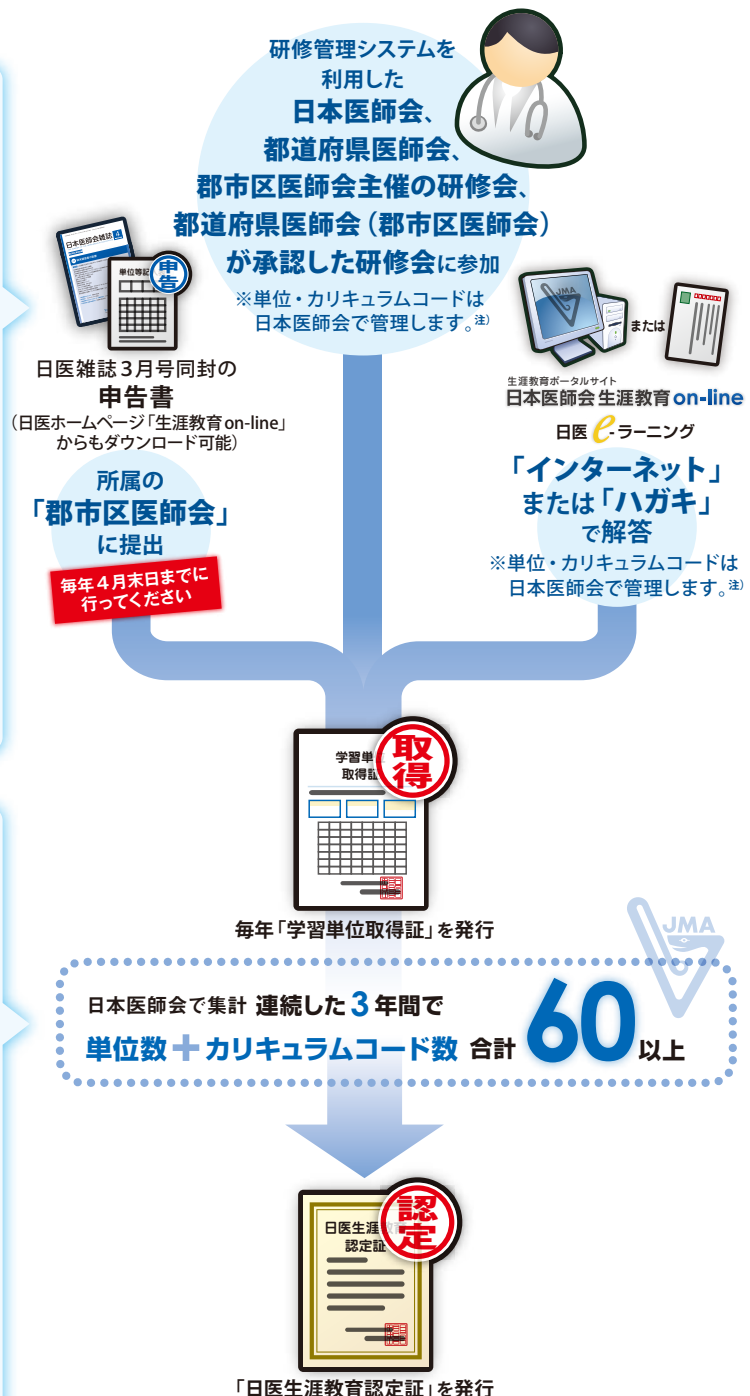
毎年、「日本医師会雑誌」3月号に同封される申告書の「生涯教育単位等記入表」に1年間の学会等参加、体験学習、医師国試問題作成、臨床実習等における指導、論文等執筆により取得した単位及び、カリキュラムコードを記入し、必要書類を添付のうえ、4月末日までに所属の郡市区医師会に提出してください。

(研修管理システムを利用しない地域においては、講習会等への参加について、申告書に取得単位、取得カリキュラムコードを記入し、参加証等(コピー可)を添付して申告してください。)

「日本医師会」に報告された単位及びカリキュラムコードのデータに、日本医師会が管理する単位・カリキュラムコードを加算し、個々の申告者の年間合計取得単位・カリキュラムコードを確定したうえで、毎年11月頃に「学習単位取得証」(取得カリキュラムコードも明記)を発行します。

さらに、そのうえで、連続した3年間の単位数とカリキュラムコード数の合計数が60以上の者に、日医生涯教育認定証を発行します。

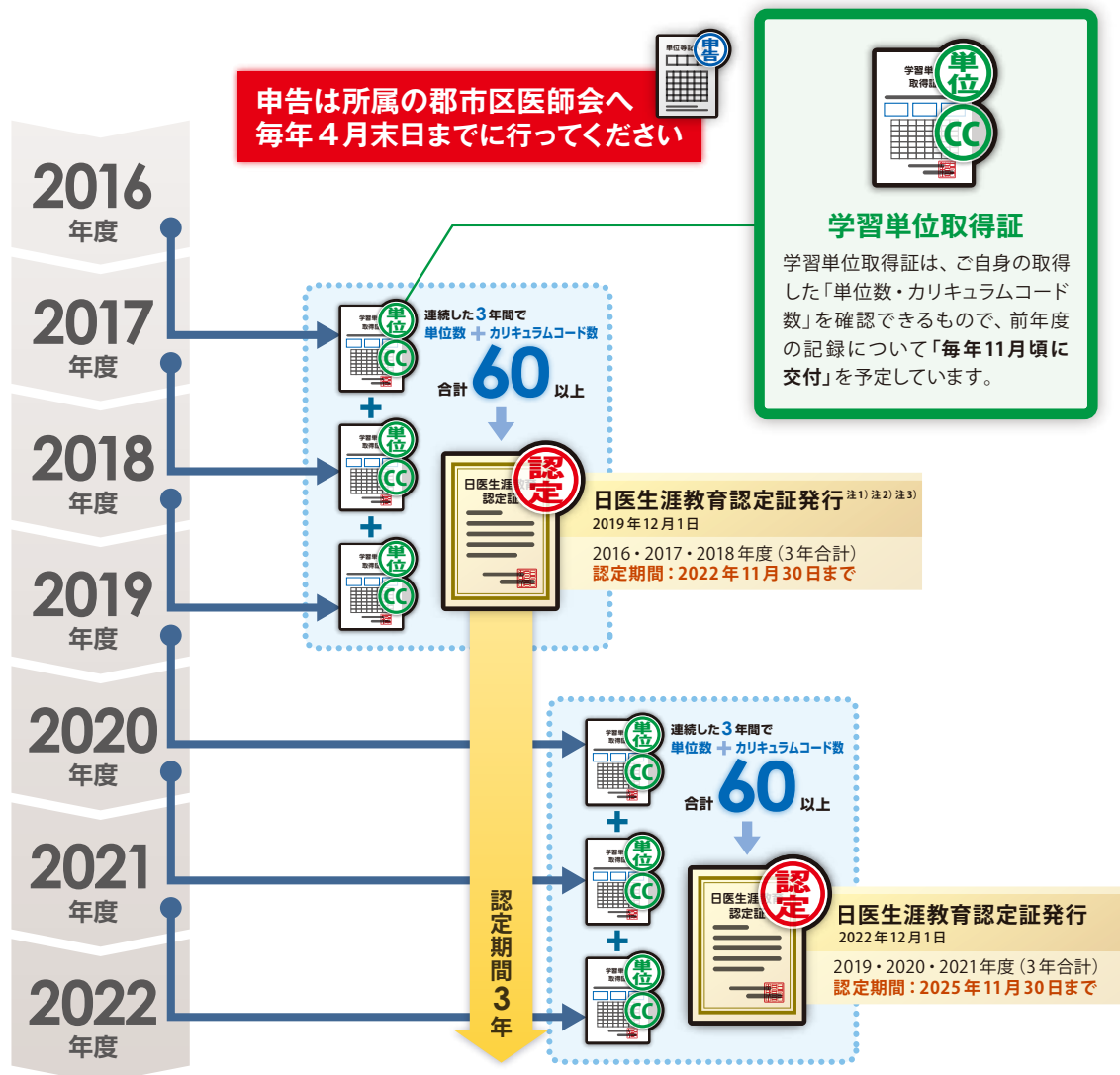
なお、同一カリキュラムコードを重複して取得してもカリキュラムコード数は加算されません。



注) 日医雑誌問題解答、日医e-ラーニング、研修管理システムを利用する講習会等の単位・カリキュラムコードは日本医師会で既に管理していますので、申告の必要はありません。

日医生涯教育認定証発行スケジュール(例)

○日医生涯教育認定証の認定期間は3年間です。



注1: 日医生涯教育認定証(以下、認定証という)を発行するための学習期間と認定証の認定期間は一致しません。なお、学習期間に取得した単位等はすべて記録されます。

注2: 認定証の認定期間3年間の間は、単位数とカリキュラムコード数の合計が60以上となっても、認定証は発行しません。

注3: 認定期間内の認定証をお持ちでない場合、直近の3年間(2017・2018・2019年度)で単位数とカリキュラムコード数の合計で60以上を取得することにより、2020年12月1日付で認定証を発行します。

カリキュラムコード（略称：CC）

1 医師の プロフェッショナリズム	27 黄疸	56 熱傷
2 医療倫理：臨床倫理	28 発熱	57 外傷
3 医療倫理：研究倫理と 生命倫理	29 認知能の障害	58 褥瘡
4 医師－患者関係と コミュニケーション	30 頭痛	59 背部痛
5 心理社会的アプローチ	31 めまい	60 腰痛
6 医療制度と法律	32 意識障害	61 関節痛
7 医療の質と安全	33 失神	62 歩行障害
8 感染対策	34 言語障害	63 四肢のしびれ
9 医療情報	35 けいれん発作	64 肉眼的血尿
10 チーム医療	36 視力障害、視野狭窄	65 排尿障害（尿失禁・排尿困難）
11 予防と保健	37 目の充血	66 乏尿・尿閉
12 地域医療	38 聴覚障害	67 多尿
13 医療と介護および福祉の連携	39 鼻漏・鼻閉	68 精神科領域の救急
14 災害医療	40 鼻出血	69 不安
15 臨床問題解決のプロセス	41 嘔声	70 気分の障害（うつ）
16 ショック	42 胸痛	71 流・早産および満期産
17 急性中毒	43 動悸	72 成長・発達の障害
18 全身倦怠感	44 心肺停止	73 慢性疾患・複合疾患の管理
19 身体機能の低下	45 呼吸困難	74 高血圧症
20 不眠	46 咳・痰	75 脂質異常症
21 食欲不振	47 誤嚥	76 糖尿病
22 体重減少・るい瘦	48 誤飲	77 骨粗鬆症
23 体重増加・肥満	49 嚥下困難	78 脳血管障害後遺症
24 浮腫	50 吐血・下血	79 気管支喘息
25 リンパ節腫脹	51 嘔気・嘔吐	80 在宅医療
26 発疹	52 胸やけ	81 終末期のケア
	53 腹痛	82 生活習慣
	54 便通異常（下痢、便秘）	83 相補・代替医療（漢方医療を含む）
	55 肛門・会陰部痛	0 その他

※ 同一カリキュラムコードを重複して取得してもカリキュラムコード数は加算されません。

単位・カリキュラムコード取得方法



日本医師会雑誌を利用した解答

日本医師会雑誌には毎号、特集のテーマに関連する問題を掲載します。
解答はインターネットまたはハガキにより行います。インターネット
またはハガキによる解答はどちらか一方とし、1題につき、60%以上の正答率を
得たものに単位を付与します。
日本医師会雑誌への解答掲載後、単位・カリキュラムコード付与については、
インターネットで随時確認できますので、**できるだけインターネットでご解答ください**。
これにより取得した単位・カリキュラムコードは日本医師会で管理します。



日医 e-ラーニング

日本医師会生涯教育 on-line に掲載している1コンテンツにつき、
1カリキュラムコード1単位を取得できます。
アセスメントにおいて、80%以上の正答率を満たした場合に単位・カリキュラムコード
を付与します。正答率が80%に満たなかった場合は、再解答が可能です。
インターネットで取得した単位・カリキュラムコードは随時確認できます。
これにより取得した単位・カリキュラムコードは日本医師会で管理します。
一部コンテンツにおいて、日本専門医機構が示す「専門医共通講習」の単位が取得できます。



臨床試験のための e Training center

(日本医師会 治験促進センター 提供)

臨床試験のための e Training center に掲載している問題 (1コース) につき、
1カリキュラムコード0.5単位を取得できます。
20題中、12題以上の正解で単位・カリキュラムコードを付与します。
不合格の場合は再受講が可能です。
これにより取得した単位・カリキュラムコードは日本医師会で管理します。



生涯教育ポータルサイト

日本医師会生涯教育 on-line

<http://www.med.or.jp/cme/>

日医 e-ラーニング
の受講について

日本医師会生涯教育 on-line のページには、上記3コンテンツを含む、日医会員のみなさま向けの「情報・コン
テンツ」が数多く掲載され、みなさまのユーザー ID・パスワードでログイン可能です。
なお、インターネット上で取得した単位・カリキュラムコードは、インターネット上で確認できます。

ユーザー ID

会員ID (日医刊行物送付番号) の10桁の数字 (半角で入力) です。
日医雑誌などの宛名シール下部に印刷されている10桁の数字です。

パスワード

生年月日の「西暦」の下2桁、月2桁、日2桁を並べた6桁の数字です
(半角で入力)。
例えば、「1962年2月4日生まれ」の場合、「620204」となります。

(日医雑誌などの宛名シール見本)

〒113-8621
東京都文京区本駒込2-28-16
〇〇〇〇 様

〇〇〇〇 様
2019/3/1 13-0

ユーザー ID

0000000000



講習会・講演会・ワークショップ等

各講演内容に対応したカリキュラムコードと単位を取得できます。
講演時間1時間で1単位（最小単位は30分で0.5単位）とします。**1日の上限は設けません。**
1カリキュラムコードの付与は1時間（1単位）を基本としますが、最短30分（0.5単位）です。
単位数は、各カリキュラムコードごとに集計されます。

- ① **日本医師会（日本医学会を含む）、都道府県医師会、郡市区医師会の主催**
プログラムに示されている単位・カリキュラムコードを取得できます。
- ② **日本医学会総会及び都道府県単位以上で開催される
日本医学会分科会（P8参照）の主催**
最短30分ごとに講演内容に対応した1カリキュラムコードを自己申告（申告者による自由選択）で取得できます。
ただし、1時間（30分+30分）以上でも同じ内容の演題には同一カリキュラムコードを指定します。
- ③ **上記以外の各科医会、研究会など、各種団体の主催**
原則として、都道府県医師会に事前に届出があったものについて、プログラム・参加証等に表示されている単位・カリキュラムコードを取得できます。



体験学習（共同診療、病理解剖見学、手術見学等の病診・診診連携の中での学習）

体験学習は1時間1単位で、1回の上限は5単位までとなります。
最小単位は30分で0.5単位（1カリキュラムコード）となります。
カリキュラムコードは内容に応じたカリキュラムコードを自己申告（申告者による自由選択）で取得できます。
なお、体験学習は、施設長・所属長等の証明書が必要です。また、それにより報酬を得るものについては体験学習とはなりません。



医師国家試験問題作成

医師国家試験問題作成は、都道府県医師会（郡市区医師会）に提出された問題について1題1単位とし、年間5単位まで取得できます。グループで作成されたものについても1題につき、一人ひとりが1単位を取得できます。
カリキュラムコードは「0・その他」のみ取得できます。



臨床実習・臨床研修制度における指導

医学生の臨床実習・医師臨床研修制度における指導の単位は、研修者1人を1日指導することにより1単位とし、年間の単位の上限は5単位までとします。なお、申請には臨床研修病院、郡市区医師会等の証明書が必要です。
カリキュラムコードは「1・医師のプロフェッショナリズム」のみ取得できます。



医学学術論文・医学著書の執筆

医学学術論文・医学著書の執筆（共同執筆も含む）は、当該年度に掲載または刊行（予定を含む）されたものについて、1回（または1件）あたり1単位、年間5単位まで取得できます。カリキュラムコードは1回（または1件）につき、内容に応じて2つまで自己申告（申告者による自由選択）で取得できます。



日本医学会分科会 (132学会)

日本アフェレシス学会	日本呼吸器内視鏡学会	日本透析医学会
日本アレルギー学会	日本骨粗鬆症学会	日本糖尿病学会
日本医学教育学会	日本災害医学会	日本動脈硬化学会
日本医学放射線学会	日本細菌学会	日本東洋医学会
日本胃癌学会	日本再生医療学会	日本内科学会
日本医史学会	日本産科婦人科学会	日本内視鏡外科学会
日本移植学会	日本産業衛生学会	日本内分泌学会
日本医真菌学会	日本磁気共鳴医学会	日本乳癌学会
日本医療機器学会	日本耳鼻咽喉科学会	日本認知症学会
日本医療情報学会	日本周産期・新生児医学会	日本熱傷学会
日本医療・病院管理学会	日本集中治療医学会	日本熱帯医学会
日本ウイルス学会	日本循環器学会	日本脳神経外科学会
日本衛生学会	日本消化器外科学会	日本脳神経血管内治療学会
日本衛生動物学会	日本消化器内視鏡学会	日本脳卒中学会
日本栄養・食糧学会	日本消化器病学会	日本農村医学会
日本疫学会	日本小児科学会	日本肺癌学会
日本温泉気候物理医学会	日本小児外科学会	日本ハンセン病学会
日本解剖学会	日本小児血液・がん学会	日本泌尿器科学会
日本化学療法学会	日本小児循環器学会	日本皮膚科学会
日本核医学会	日本小児神経学会	日本肥満学会
日本眼科学会	日本静脈経腸栄養学会	日本病態栄養学会
日本癌学会	日本職業・災害医学会	日本病理学会
日本感染症学会	日本自律神経学会	日本プライマリ・ケア連合学会
日本肝臓学会	日本神経学会	日本平滑筋学会
日本癌治療学会	日本神経病理学会	日本ペインクリニック学会
日本緩和医療学会	日本人工臓器学会	日本法医学会
日本気管食道科学会	日本心身医学会	日本放射線腫瘍学会
日本寄生虫学会	日本腎臓学会	日本保険医学会
日本救急医学会	日本心臓血管外科学会	日本麻酔科学会
日本矯正医学会	日本人類遺伝学会	日本脈管学会
日本胸部外科学会	日本睡眠学会	日本免疫学会
日本形成外科学会	日本生化学会	日本薬理学会
日本外科学会	日本整形外科学会	日本輸血・細胞治療学会
日本血液学会	日本生殖医学会	日本リウマチ学会
日本結核病学会	日本精神神経学会	日本リハビリテーション医学会
日本血管外科学会	日本生体医工学会	日本臨床検査医学会
日本血栓止血学会	日本生理学学会	日本臨床細胞学会
日本健康学会	日本脊椎脊髄病学会	日本臨床腫瘍学会
日本口腔科学会	日本先天異常学会	日本臨床スポーツ医学会
日本高血圧学会	日本造血細胞移植学会	日本臨床薬理学会
日本公衆衛生学会	日本大腸肛門病学会	日本リンパ網内系学会
日本交通医学会	日本体力医学会	日本レーザー医学会
日本呼吸器学会	日本超音波医学会	日本老年医学会
日本呼吸器外科学会	日本手外科学会	日本老年精神医学会 (五十音順)

2020年1月現在

公益社団法人 日本医師会 生涯教育課 TEL: 03-3942-6139



生涯教育ポータルサイト

日本医師会 生涯教育 on-line

<http://www.med.or.jp/cme/>

本制度の詳細につきましては、ホームページ掲載の「日医生涯教育制度」をご覧ください。